



サイン

年 組 ( ) 名前

住宅街の一角にある放牧場。道行く人や近隣の住民からは街のシンボルとして親しまれているという(27日、八王子市で)



東京都八王子市の住宅街にミルク牧場があります。臭い対策として寝床にコーヒー豆を敷いたり、食品廃棄物(食べ物の生ごみなど)を減らすため、近くの食品工場から出る野菜や果物を飼料(エサ)にしたりしています。(2020年8月30日 読売新聞都民版より)



# 街中のミルク牧場

八王子市の住宅街。車が行き交う街の一角で、突如として聞こえてきた「モー」という声。東京であることを忘れそうなのどかな景色が現れた。約60年前から乳牛を飼育する牧場「磯沼ミルクファーム」だ。  
ここでは、ホルスタインやジャージーなど6種類約100頭の乳牛を飼育する。「牛にもたくさん種類のがあり、それぞれの個性があることを知ってほしい」という同牧場代表の磯沼正徳さん(68)の思いからだ。健やかに育つ乳牛たちからは、毎日約1斗の牛乳が搾られている。  
牛の寝床に敷いているのはコーヒー豆だ。香りが高く消臭効果もあるため、近隣への臭い対策になる。都市部での酪農ならではの工夫だ。食品廃棄物の削減にも貢献しようとして、飼料は毎日近隣の食品工場から出る野菜や果物にしている。

※先生やおうちの人といっしょに読みましょう。

- 【1】この牧場は、乳牛を何頭飼育していますか。  頭
- 【2】臭い対策として、牛の寝床に何を敷いていますか。  豆
- 【3】あなたが牧場で飼いたいと思う動物をたくさん書きましょう。

年 組 ( ) 名前

サイン

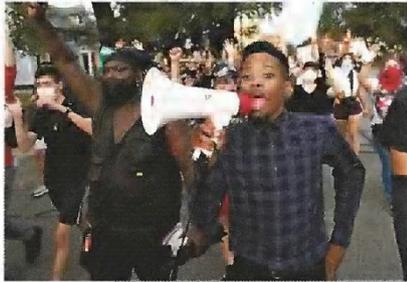
# 黒人差別

# NO

# 広がる

アメリカで8月23日、黒人男性が白人警官に銃で撃たれて重体となる事件が発生しました。アメリカでは、5月にも同じように白人警官により、黒人男性の命が奪われたばかり。何度も繰り返される人種差別に、スポーツ界でも抗議の動きが広がっています。

事件は、中西部のウィスコンシン州で起きました。家庭トラブルを起した黒人男性が、臨場した白人警察官に銃で撃たれたのです。男性は命に別条はありませんでした。でも、警官が男性の背後から銃を放つシヨッキングな映像がインターネットで拡散されると、アメリカ各地で警察に対する抗議デモが起きたII写真、APII。デモが拡大する中、ウィスコンシン州では8月25



日、デモの参加者が銃で撃たれて亡くなるという別の悲劇も起きました。アメリカでは今年5月、ミネソタ州で黒人男性が白人警官に拘束された末に死亡するという事件が起きています。今、アメリカでは「黒人差別はどうかすればなくなるのか」が最も大きな問題になっています。11月のアメリカ大統領選挙でも、各候補がこの問題にどう対応するかが問われることとなります。

## 白人警官 今度は銃撃

◆アメリカで黒人男性が白人警官から銃で撃たれる事件が起き、人種差別に抗議する動きが広がっています。



【1】抗議が広がるきっかけとなった事件はどこで起きましたか。

【2】黒人差別への抗議デモが各地で起きた理由を2つ書きましょう。

アメリカ・ウィスコンシン州で、警官隊とにらみ合うデモ参加者ら（8月24日）=AP

(2020年9月3日 読売KODOMO新聞より)

【発展問題】黒人差別はどのようにすればなくなるとお思いますか。調べて裏に書きましょう。

年 組 ( ) 名前

サイン

# 差別解消 安心の三つ輪

## 愛媛 伊予生糸でリボン作り



参加者とシトラスリボンを作る甲斐准教授(右、いずれも愛媛県西予市で)

◆しんがた新型コロナウイルスに関連して、「シトラスリボン運動」が少しずつ各地に広がっています。シトラスはミカンなどのかんきつ類を指す英語です。

(2020年7月1日 読売新聞香川版より)

新型コロナウイルスの感染者らへの差別解消を目指す「シトラスリボン運動」の一環として、松山市の市民グループ「ちよびつと19+」が、愛媛県西予市野村町の野村絹織物館で、特産の絹糸「伊予生糸」を使ったリボン作りの講習会を開いた。

松山大の甲斐朋香准教授らが4月にグループを発足し、感染者や医療従事者らへの非難や中傷をなくそうと運動を展開。県特産の柑橘をイメージし、シトラス

色のリボンを作る活動は全国に広がる。

講習会では、運動に協力を申し出た老舗の組みひも店「籠工房」(東京)が製作した伊予生糸の組みひもを使った。県内の賛同者ら約20人が緑色に染色した組みひもを三つの輪に編んでリボンに仕立てた。

県立野村高校2年の篠藤月碧さん(16)は「友だちや家族にも作り方を教えて、新型コロナウイルスへの偏見や差別がなくなるよう普及したい」と話した。

作り方を指導した甲斐准教授は「シトラスリボンを安心の目印とし、差別がない社会になるまで運動を続ける」と力を込めた。



伊予生糸を使ったシトラスリボン

【1】シトラスリボン運動とは  
なにか、説明しましょう。

【2】かんきつ類  
の中で、知っている  
果物の名前をあ  
げましょう。

はってん  
【発展問題】シトラスリボンの作り方を調べ、みんなで作ってみましょう。リボンの色は自由です。

年 組 ( ) 名前

サイン

## 五輪・パラ コロナ対策

選手には、ウイルスの潜伏期間の目安となる約2週間、繁華街での買い物や外食などを控えてもらう。宿泊先と練習場など、限られた場所を車で往復し、定期的に検査を繰り返す。選手らの世話役も限定し、検査をする案も浮上している。

背景には、大会関係者を含め約1万8000人が滞在できる選手村（東京）で、クラスター（感染集団）が発生するのを防ぐ狙いもある。

## ホストタウン「交流は……」

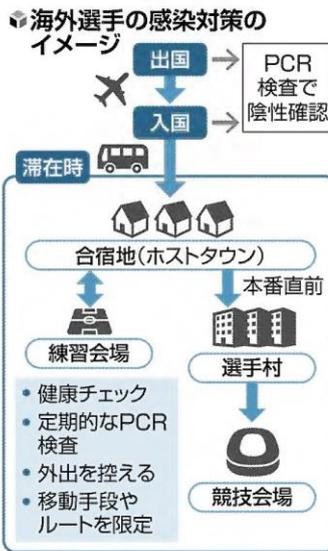
選手には、ウイルスの潜伏期間の目安となる約2週間、繁華街での買い物や外食などを控えてもらう。宿泊先と練習場など、限られた場所を車で往復し、定期的に検査を繰り返す。選手らの世話役も限定し、検査をする案も浮上している。

背景には、大会関係者を含め約1万8000人が滞在できる選手村（東京）で、クラスター（感染集団）が発生するのを防ぐ狙いもある。

本来、ホストタウンは東京大会の盛り上がりを広げ、受け入れた選手が地域との関係を深めるために設置される。

陸上のメダル候補選手が滞在予定の関東地方の自治体担当者は「市民が試合前の選手に感染させてしまつたらまずい、交流が制限されれば、盛り上がりは生まれるか不安だ」と悩ましい胸の内を語った。

来夏の東京五輪・パラリンピックについて、政府は海外選手の入国後の行動を制限し、新型コロナウイルスのPCR検査を繰り返した上、開会式や競技に臨んでもらう案を検討していることが大会関係者への取材でわかった。本人の感染や、他の選手らへの感染拡大を防ぐためだが、交流を予定しているホストタウンからは戸惑いの声も上がる。



# 選手の入国後 行動制限徹底

ホストタウン 東京大会の前後に、海外選手らを各自治体で迎える制度。2016年に登録が始まり、498自治体が171か国・地域の受け入れを決めている。事前合宿のほか、大会後に訪問する「事後交流型」や、東日本大震災で支援してくれた国・地域をもてなす「復興『ありがとう』ホストタウン」などがある。

◆<sup>しんがた</sup>新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、政府は来年夏の東京五輪・パラリンピックで海外選手の入国後の行動制限やPCR検査の徹底を検討しています。一方で、交流を予定するホストタウンからは戸惑いの声聞こえます。(2020年8月24日 読売新聞朝刊より)

【1】海外選手が来日した時にやらなければならないこと書きましょう。

【2】海外選手は来日後も行動を制限されますが、その内容を書きましょう。

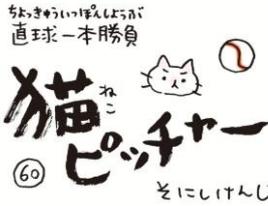
【3】ホストタウンの自治体数と受け入れる国・地域の数、役割について書きましょう。

自治体数		国・地域数	
役割			

【発展問題】あなたの住んでいる地域や周辺にあるホストタウンが受け入れる国・地域、どのような交流を行うのかなどを調べ、裏に書きましょう。

年 組 ( ) 名前

サイン



The Japan News by The Yomiuri Shinbun



パセリーグには猫ピッチャーがいないので、彼はミー太郎に慣れていない。

交流戦初戦のマウンドで緊張気味のミー太郎。対する打者は、初めて見る本物の猫ピッチャーだけに...

be used to ~
~に慣れている
「use」は「使う」という意味ですが、この場合は全く違う意味になります。似ている「used to」も「(かつては)~だった」と違う意味です。

★あわせて覚えよう★
used to ~
(かつては)よく~した。~だった。
get used to ~
~に慣れる。慣れてくる

単語帳
real: 本物の、cute: かわいい、take a picture: 写真を撮る

★なぞってみよう★
be used to
get used to

# 読売新聞 教育ネットワークとは

## 小中高校の先生のために

教育現場で役立つワークシートの配信や  
出前授業のアレンジ、教育イベントの案内など、  
先生方をサポートするさまざまな活動を展開しています。  
学校でのユニークな取り組みもぜひお知らせください。

### ワークシート通信

新聞記事をもとに作成した設問付きのワークシートです。朝学習や授業の導入部などにお使いいただけます。教科や難易度の異なる5枚をセットにして毎週水曜朝に無料配信しています。

### 土曜出前授業

私たちの出前授業は、単に「新聞づくり」だけを学ぶ場ではありません。日々の情報を活用することで、最も大切な「情報の見分け方」を楽しく身につけてもらいます。インプットを変えていけば、アウトプットも変わっていく。子どもと一緒に聞いているだけで、親の「世界を見る目」も磨かれる。土曜日の学校公開を、親子で楽しく学べる場に変えてみませんか？

一方的な講義ではなく、疑問に思ったことは手を挙げて、すぐに質問できる授業です

### ●NIE土曜サロン

新聞を活用した学習方法について探る、先生向けの勉強会を原則毎月第4土曜日の14時～16時半に開いています。



活発な意見が交わされる「土曜サロン」



### ●教材提供

『道徳に新聞活用』『新聞たんけん隊』など、教室で使いやすい各種ガイドブックを発行しています。小中高の教員に送料のみで送付しています。

### ●新聞購入割引のご案内

教材として同じ日の新聞を10部以上使用する場合、特別価格が適用されます。詳しくは読売新聞オンラインで  
[434381.yomiuri.co.jp/26/school/](http://434381.yomiuri.co.jp/26/school/)



### ■参加区分と特典

参加区分		メールマガジン	トレーニングシート	情報掲載	各種申し込み	ワークシート通信
参加区分	学校 (団体として)	週1回	月2枚	随時	随時	週5枚
	教職員 (個人として)	イベントやプレゼントを優先的にご案内します	ウェブサイトからダウンロードできます	参加団体の情報をウェブサイトに掲載します	出前授業やプレゼントなどに応募できます	バックナンバーもダウンロードできます
	企業・団体	○	○	○	○	×
	個人	○	○	○	○	×

